

平成 30 年 度

佐賀大学農学部

3 年次編入学

第 2 次学生募集要項

一 般 入 試

佐 賀 大 学

目 次

| | |
|---------------------------|-------|
| I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） | 1～6 |
| II 一般入試 | 7～10 |
| III 出願上の留意事項 | 11 |
| IV 障がい等を有する志願者との事前相談について | 11 |
| V 個人情報の取扱いについて | 11 |
| VI 入学志願票等の記入上の注意及び記入例 | 12～14 |
| VII 入学手続等 | 15～16 |
| VIII 佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内 | 17～18 |

※出願方法について

佐賀大学3年次編入学試験への出願は、佐賀大学入試課のホームページからダウンロードした出願書類を市販の用紙に印刷して提出する方法を採用しています。

A4サイズの印刷が可能なプリンタ等がない方、ファイルがうまく表示されない方は、佐賀大学入試課に資料請求をしてください。

●出願に際して

・本学ホームページから必要なファイルをダウンロードしてください。

出願書類については、本要項記載の「出願に必要な書類等」でご確認ください。

・検定料は振込依頼書を印刷し、銀行で振り込み手続きを行ってください。

・印刷した出願用封筒ラベルを市販の角形2号の封筒に貼付し、書類一式を入れて提出してください。

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

農 学 部

【1】求める学生像

農学部は、農学及び関連する学問領域において、多様な社会的要請にこたえうる幅広い素養と実行力を身に付けた人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

■応用生物科学科

応用生物科学科では、生物の特性を理解し、生物の改良や活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 多様な動植物の生理生態的特性の解明、バイオテクノロジーを用いた有用生物資源の開発・利用、有用動植物を加害する病害虫の制御等についての理解と関心がある人
- ② 問題解決に向けて、粘り強く自己研鑽に努める熱意と実行力がある人
- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

[応用生物科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

生物に対する興味があり、生物の機能また生物が生育する環境について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人、留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

■生物環境科学科

生物環境科学科では、3つのコースにおいて次のような人材を育成します。生物環境保全学コースでは、地球上の環境や生態系を深く理解し、これらの保全、再生及び活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。資源循環生産学コースでは、生物科学及び生産情報科学の理論と技術を学び、環境に配慮した食糧生産と環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。地域社会開発学コースでは、フィールドワークに基づく教育研究を通して、日本を含むアジア・太平洋諸地域における、持続可能な循環型地域社会の構築に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 自然環境、社会環境及び生物生産環境の保全と修復に興味を持つ人
- ② 永続的な農業を可能にする新たな生物生産システム及び経済社会システムの創造に意欲があ

る人

- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

〔生物環境科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

人間を含む生物やそれを取り巻く環境及び人間社会に対する興味があり、これらを総合的に学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学の課題にはグローバルな問題が多くあり、それを解決する糸口を得るため、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が望まれます。

■生命機能科学科

生命機能科学科では、科学的思考力を備え、生命科学技術の応用を通して、食と健康の分野において社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 生体における遺伝子の発現や物質代謝とそれらの調節機構を分子レベルで理解するライフサイエンス、食品の生体調節機能、栄養機能や安全性等に興味を持っている人
- ② 将来、本学科で学んだ知識や技術を社会で活かそうと考えている人

〔生命機能科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

生命現象に対する科学的興味があり、微生物から高等生物までの生命体が持つ機能について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

【2】入学者選抜の基本方針

農学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」と「英語」の基礎学力を評価します。

【後期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を深く理解するために必要な数理的な思考力・表現力に関する高い能力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」の基礎学力を評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「帰国子女」の2つの入試区分により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査(調査書、推薦書、作文等)、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【帰国子女】

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査(成績証明書等)、小論文

および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

編入学試験

短期大学及び専修学校の卒業者等で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者学生を対象に3年次編入学試験を行います。

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、書類審査（成績証明書等）、学力検査（英語）、口頭試問および面接試験等によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力として、日本留学試験、TOEFL の成績および面接試験によって入学後の学習に必要な語学力について評価すると同時に、日本留学試験、書類審査（成績証明書等）および口頭試問によって汎用的な学力を有しているかを評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

農学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

| 観点 | 入学後に必要な能力や適性等 | 評価方法 | 入試方法 |
|-------------|----------------------------|--|---|
| 知識・理解・思考・判断 | 大学で学ぶために必要な汎用的な学力 | 大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。 | 一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） |
| | | 調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。 | 特別入試（推薦入試Ⅰ） |
| | | 小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。 | 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） |
| | | 書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。 | 特別入試（帰国子女） |
| | | 日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価します。 | 私費外国人留学生入試 |
| | | 口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。 | 私費外国人留学生入試 |
| | | 日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。 | 私費外国人留学生入試 |
| | | TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。 | 私費外国人留学生入試 |
| | 専門科目を学ぶために必要な基礎学力 | 大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。 | 一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） |
| | | 個別試験において、高校で履修する「数学」について、標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力を記述式によって評価します。また、「英語」では、長文読解、論理的思考力等を有しているかについて記述式によって評価します。 | 一般入試（前期日程） |
| | | 個別試験において、高校で履修する数学について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。 | 一般入試（後期日程） |
| | | 小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。 | 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） |
| | | 口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。 | 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試） |
| | | 学力検査において、英語文書の読解力について評価します。 | 3年次編入学試験（一般入試） |
| 興味・関心・態度・意欲 | 志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲 | 調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。 推薦書において、推薦の理由を参考にします。 面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。 | 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試） |

Ⅱ 一般入試

1 募集学科等及び募集人員

| 学科 | コース | 募集人員 |
|---------|------------|------|
| 応用生物科学科 | | 2人 |
| 生物環境科学科 | 生物環境保全学コース | |
| | 資源循環生産学コース | |
| | 地域社会開発学コース | |
| 生命機能科学科 | | |

(備考)生物環境科学科は、コースで募集します。

2 編入学年次

平成30年4月1日に3年次に編入学します。

3 出願資格

次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (3) 大学を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (5) 他の大学に2年以上(休学期間を除きます。)在学し、62単位以上を修得した者及び編入学時まで他の大学に2年以上(休学期間を除きます。)在学し、62単位以上を修得見込みの者
- (6) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第132条の規定による専修学校の専門課程を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (7) 学校教育法第58条の2の規定による高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。)の農業系の専攻科の課程(修業年限2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限り)を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限り)。
- (8) 外国において、学校教育課程における14年の課程を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者

4 出願期間

平成30年1月4日(木)～平成30年1月11日(木)

ア 持参の場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除き、毎日9時から17時まで受け付けます。

イ 郵送の場合は、「簡易書留」とし、下記の日時までには必着するよう送付してください。

平成30年1月11日(木) 17時

ウ 角形2号の封筒に本学所定の封筒表紙を貼付し提出してください。

5 出願に必要な書類等

| 区 分 | 備 考 |
|---|---|
| 入 学 検 定 料 (30,000 円) | 本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 ^(注1) なお、下記(注1)の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。 |
| 検 定 料 振 込 証 明 台 紙 | 上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。 |
| 入 学 志 願 票 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票 | ※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。 |
| 成 績 証 明 書 | 最終学歴(中途退学を含みます。)の成績証明書 |
| 卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 み 証 明 書 ^(注2) | 4年制大学を中途退学した者は在学期間証明書を、在学中の者は在学証明書を提出してください。 |
| 高等学校等の専攻科の課程が 基準を満たしていることにつ いての証明書 出願資格(7)で出願する者のみ | ①各高等学校等が発行する修業年限2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす各高等学校等の専攻科の課程を修了したことを証明する証明書 ②上記①により難しい場合には、編入学を希望する者が修了した各高等学校等、当該高等学校等を設置する都道府県教育委員会又は所轄の都道府県等の協力を得つつ、当該課程が本件に係る基準を満たしていることを確認されたことの証明書 |
| 履 歴 書 出願資格(6)で出願する者のみ | 本学所定の用紙を用いてください。 |
| 志 願 理 由 書 | 本学所定の用紙を用いてください。 |
| 出 願 承 認 書 | 本学所定の用紙を用いてください。(ただし、在職中の者に限ります。) |
| 受 験 票 送 付 用 封 筒 | 受験票を送付しますので、長形3号の封筒に、志願者の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、82円分の切手を貼り付けてください。 |
| 住 所 届 | 本学所定の住所届に必要事項を自筆で記入してください。 |
| 「住民票」又は「在留カード」の写し | ○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの)を提出してください。(在留カードをコピーしたものでも可) ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し(写真及び在留資格・期間の分かるページ)を提出してください。 |

(注1)検定料返還請求

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。

(注2)合格者について、出願資格(1)、(2)、(3)、(6)、(7)、(8)にかかる平成30年3月卒業又は修了見込みの者(本学出身者は除

きます。)は「卒業証明書」又は「修了証明書」を、卒業後速やかに提出してください。出願資格(4)にかかる学位取得見込みの者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を速やかに提出してください。また、出願資格(5)にかかる編入学時まで大学に2年以上(休学期間を除きます。)在学し、62単位以上を修得見込みの者は、「在学期間証明書」及び「成績証明書」を平成30年3月31日までに提出してください。

東日本大震災又は熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

(ア) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

(イ) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者

(ウ) 熊本地震で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

3. 申請書類

(ア) 「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「入試案内、3年次編入学、募集要項」からダウンロードできます。

なお、ご請求頂ければ、郵送により送付します。

- (イ) 「被災証明書（写し可）」（上記1.（ア）の①又は（ウ）の①に該当する者）
- (ウ) 「死亡又は行方不明を証明する書類」（上記1.（ア）の②又は（ウ）の②に該当する者）
- (エ) 「被災証明書（写し可）」（上記1.（イ）に該当する者）

6 入試方法

入学者の選抜は、学力検査等の成績、面接等、成績証明書の内容等の結果を総合して、合格者を決定します。

7 試験日時等

(1) 試験日時

平成30年1月29日(月)

受験者は、9時30分までに受験票を持参の上、農学部1号館南棟西玄関入口へ集合してください。

| 志望学科 | 試験科目 | 試験時間 | 備考 |
|-------------------------------|--------------|-------------|------------------|
| 応用生物科学科 生物環境科学科 生命機能科学科 | 英語 | 10:00~11:30 | 英語は基本的な読解力を問います。 |
| | 口頭試問 及び面接 | 13:00~ | |

8 試験場

佐賀大学農学部

9 合格者発表

平成30年2月20日(火)10時

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますので、ご了承ください。

Ⅲ 出願上の留意事項

- (1) 出願書類を郵送する場合は、所定の封筒に必要事項を記入の上、「簡易書留」としてください。
- (2) 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受け付けません。
- (3) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。
また、納入された入学検定料及び出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。
- (4) 合格通知書及び入学手続書類は、「住所届」に記載された現住所に送付しますので、正確に記入してください。なお、出願後、住所に変更があった場合は、電話連絡するとともに、さらに、ハガキ等でもお知らせください。

Ⅳ 障がい等を有する志願者との事前相談について

障がい等を有する志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前に下記の内容を記載した申請書（様式は任意）及び添付書類を入試課に送付し相談してください。

なお、本学では、学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

* 申請書の内容

志願学部・学科（コース）

障がいの種類・程度

受験上の配慮を希望する事項

修学上の配慮を希望する事項

出身学校等でとられていた配慮

日常生活の状況

連絡先（氏名、電話番号、住所、出身学校）

○相談の時期

出願開始の1週間前まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がい等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

Ⅴ 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等「入学科・授業料免除、（入学科徴収猶予）及び奨学金等を含む。」に利用します。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

VI 入学志願票等の記入上の注意及び記入例

- (1) 志願票の記入に当たっては、募集要項を熟読の上、下記の「記入例」に従い、必ず志願者本人が記入してください。
- (2) 記入に当たっては、手書きの場合、ペン（黒）又はボールペン（黒）を用い、文字及び数字（算用数字）は、丁寧に記入してください。
- (3) ※印欄は、記入しないでください。

（記入例）

「志望学部、学科」及び「コード（第4表参照）」の欄

| | | | |
|----------|------------|---|---|
| 志望学部、学科 | コード（第4表参照） | | |
| 農 学部 | 1 | 4 | |
| 応用生物科 学科 | 1 | 3 | 7 |

- 志望学部、学科欄は、志望する学部名等を正確に記入してください。コード（第4表参照）の欄は「第4表」により、志望学部、学科コード番号の数字等を1コマ1ケタずつ、正確に記入してください。

「氏名」の欄

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|----|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 漢字 (アルファベット) | 氏名 | 佐 | 賀 | 学 | | | | | | | | | | | | | | |
| フリガナ (カタカナ) | | サ | ガ | マ | ナ | ブ | | | | | | | | | | | | |

- 常用漢字で記入してください。（JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字を含む場合、その文字が置き換えられることがあります。）

【置き換えられる文字の例】

高 → 髙 崎 → 崎 菜 → 桑
 土 → 土 吉 → 吉 原 → 原

「性別」及び「生年月日」の欄

| | | | | | | | | |
|-----|------|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 生年月日 | | | | | | | |
| 男 女 | 西暦年 | | | 月 | 日 | | | |
| ○ | 1 | 9 | 9 | 7 | 0 | 7 | 1 | 6 |

- 性別欄は、該当する方に○を記入してください。

- 生年月日を記入する欄で、月及び日が1ケタの場合は右づめとし、前1コマに「0」を記入してください。

「出身県等」及び「出身学校等」の欄

| 出身県等 | | 留 学 生 | | | 選抜種別 | 出 身 学 校 等 | | | | | | | |
|-----------|---------------|-------|--|--|-----------|-----------|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1表 参照 | 国・地域 第2表参照 | | | | 第3表 参照 | 卒 業 等 年 月 | | | | | | | |
| | | | | | | 西 曆 | | | 年 | 月 | | | |
| 4 | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 1 | 8 | 0 | 3 |

- 出身県等欄は、「第1表」により、出身県等のコード番号の数字を1コマ1ケタずつ、正確に記入してください。
- 留学生については、「第2表」により、該当する国・地域のコード番号の数字を1コマ1ケタずつ、正確に記入してください。
- 出身学校等欄は、「第3表」により、出身学校等のコード番号の数字を1コマ1ケタずつ、正確に記入し、卒業等年月（見込みを含みます。）を西暦で記入してください。

「最終学歴」の欄

- 最終学歴を正確に記入してください。

「現住所及び連絡先」の欄

- 本学から出願書類等について連絡する場合がありますので、正確に記入してください。なお、出願後、この欄に変更があった場合は、電話連絡するとともにハガキ等でも通知してください。

「住所届」

- 合格通知書は、これに記載された現住所に送付しますので、正確に記入してください。なお、出願後、住所に変更があった場合は、電話連絡するとともにハガキ等でも通知してください。

(第1表) 都道府県等コード

| | | | | | | | | | |
|-----|----|------|----|------|----|-----|----|------|----|
| 北海道 | 01 | 埼玉県 | 11 | 岐阜県 | 21 | 鳥取県 | 31 | 佐賀県 | 41 |
| 青森県 | 02 | 千葉県 | 12 | 静岡県 | 22 | 島根県 | 32 | 長崎県 | 42 |
| 岩手県 | 03 | 東京都 | 13 | 愛知県 | 23 | 岡山県 | 33 | 熊本県 | 43 |
| 宮城県 | 04 | 神奈川県 | 14 | 三重県 | 24 | 広島県 | 34 | 大分県 | 44 |
| 秋田県 | 05 | 新潟県 | 15 | 滋賀県 | 25 | 山口県 | 35 | 宮崎県 | 45 |
| 山形県 | 06 | 富山県 | 16 | 京都府 | 26 | 徳島県 | 36 | 鹿児島県 | 46 |
| 福島県 | 07 | 石川県 | 17 | 大阪府 | 27 | 香川県 | 37 | 沖縄県 | 47 |
| 茨城県 | 08 | 福井県 | 18 | 兵庫県 | 28 | 愛媛県 | 38 | | |
| 栃木県 | 09 | 山梨県 | 19 | 奈良県 | 29 | 高知県 | 39 | | |
| 群馬県 | 10 | 長野県 | 20 | 和歌山県 | 30 | 福岡県 | 40 | 外国 | 99 |

(第2表) 国・地域コード

| | | | | |
|-------------|-----------------|----------------|--------------|-------------|
| パキスタン 101 | 大韓民国 113 | イ ラ ン 201 | ガ ー ナ 311 | ルクセンブルク 709 |
| イ ン ド 102 | モンゴル 114 | ト ル コ 202 | ウ ガ ン ダ 312 | オ ラ ン ダ 710 |
| ネ パ ー ル 103 | ベトナム 115 | イスラエル 203 | エチオピア 320 | ド イ ツ 711 |
| バングラデシュ 104 | 中華人民共和国 116 | シリア・アラブ共和国 204 | オーストラリア 401 | フ ラ ン ス 712 |
| スリランカ 105 | カンボジア 117 | バーレーン 215 | ニュージーランド 402 | ス ペ イ ン 713 |
| ミャンマー 106 | ブータン 118 | エジプト 301 | カ ナ ダ 501 | イ タ リ ア 715 |
| タ イ 107 | ラオス 119 | スーダン 302 | アメリカ合衆国 502 | ポーランド 721 |
| マレーシア 108 | ブルネイ 120 | リビア 303 | ドミニカ 607 | チ ェ コ 722 |
| シンガポール 109 | マカオ 121 | ケニア 307 | ブラジル 608 | ハンガリー 723 |
| インドネシア 110 | 台 湾 122 | タンザニア 308 | ホンジュラス 618 | ブルガリア 726 |
| フィリピン 111 | 朝鮮民主主義人民共和国 191 | コ ン ゴ 309 | パ ナ マ 619 | スロバキア 732 |
| 香 港 112 | | ナイジェリア 310 | イギリス 707 | ウズベキスタン 734 |

(第3表) 出身学校等コード

| | |
|------------|----|
| 高等専門学校 | 11 |
| 短期大学（国内） | 12 |
| 短期大学（国外） | 13 |
| その他（大学を含む） | 19 |

(第4表) 学部、学科コード

| | | | |
|-------|-----|---------------|-----|
| 農 学 部 | 1 4 | 応 用 生 物 科 学 科 | 137 |
| | | 生 物 環 境 科 学 科 | 7DZ |
| | | 生 命 機 能 科 学 科 | 139 |

VII 入学手続等

1 入学手続

入学手続については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

※期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

2 入学手続の内容

入学手続期間内において、関係書類の提出及び入学料の納入を完了してください。

入学料

282,000円（入学手続時に納入してください。）

※この金額は、平成29年4月現在のものです。

（留意事項）

- (1) 入学時に入学料の改定が行われた場合には、改定後の入学料を納入していただくこととなります。なお、合格通知書送付の際、納入方法を含め、改めてお知らせします。
- (2) 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 下記「入学料免除の申請対象者」のいずれかに該当する特別な事情により入学料の納入が著しく困難であると認められる場合、定められた資格・基準等に基づき書類選考を行い、入学料の全額又は半額免除及び徴収を猶予する制度があります。申請方法等については、学生生活課（0952-28-8486）にお問い合わせください。

入学料免除の申請対象者

- ・入学前1年以内に学資負担者が死亡した方
- ・入学前1年以内に本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた方

3 授業料について

(1) 授業料の金額

前期分 267,900円 後期分 267,900円〔年額 535,800円〕

※この金額は、平成29年4月現在のものです。

(2) 納入方法

授業料は「口座振替制度」の利用をお願いしています。

(3) 口座振替日

前期分 平成30年5月28日（月） 後期分 平成30年11月27日（火）

（留意事項）

- ① 入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を納入していただくこととなります。
- ② 下記「授業料免除の申請対象者」のいずれかに該当する場合、定められた資格・基準等に基づき書類選考を行い、授業料（半期分）の全額又は半額を免除する制度があります。申請方法等については、学生生活課（0952-28-8486）にお問い合わせください。

授業料免除の申請対象者

- ・経済的理由（各種ローンや負債の返済を除く）によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる方

- ・入学前1年以内に学資負担者が死亡した方，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け，授業料の納付が著しく困難と認められる方

4 奨学金

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構法に基づき，願い出により選考の上，次の金額が貸与されます。

第一種奨学生(無利子) 貸与月額

自 宅 45,000 円，

自宅外 51,000 円

自宅・自宅外共通 30,000 円

第二種奨学生(有利子) 貸与月額

30,000 円，50,000 円，80,000 円，100,000 円，120,000 円から選択

なお，この他に地方公共団体等の奨学金制度がありますが，詳細は下記の問い合わせ先をお願いします。

- (2) 奨学金に関する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部学生生活課

TEL 0952-28-8172

5 編入学後の履修について

- (1) 入学者が高等専門学校，短期大学又は大学等において修得した単位については，各学部の規定に基づき，単位を認定します。
- (2) 入学後は，各学部の所定のカリキュラムに従って，卒業に必要な単位を修得しなければなりません。
- (3) 在学年限は，2年以上4年以内とします。

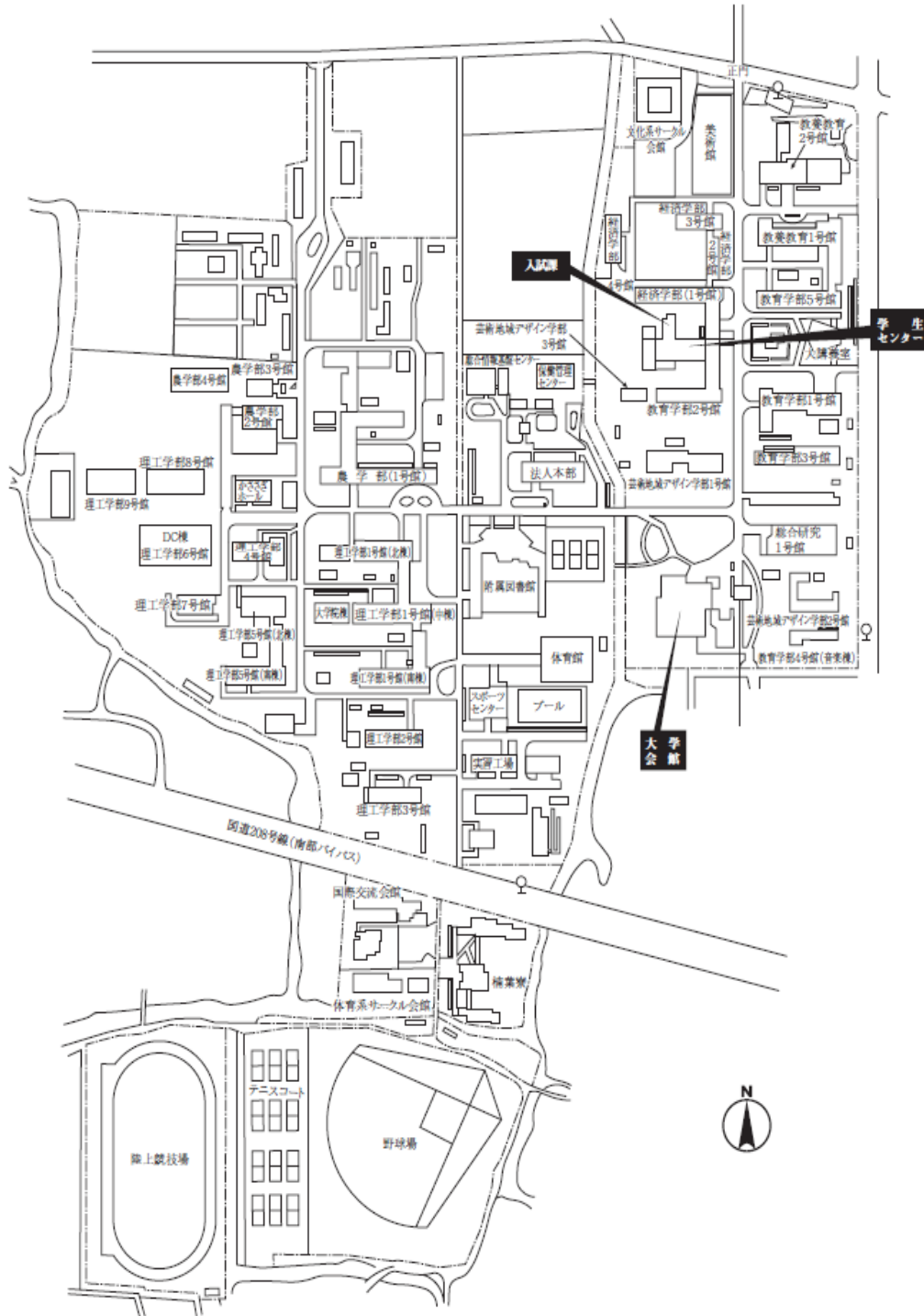
6 教員免許状やその他資格の取得について

教員免許状の取得を希望する者（短期大学等で2種免許状取得者及び取得見込み者を含みます。）やその他資格取得を希望する者は，出願前に学務部教務課の農学部担当（0952-28-8717）へ確認を行ってください。

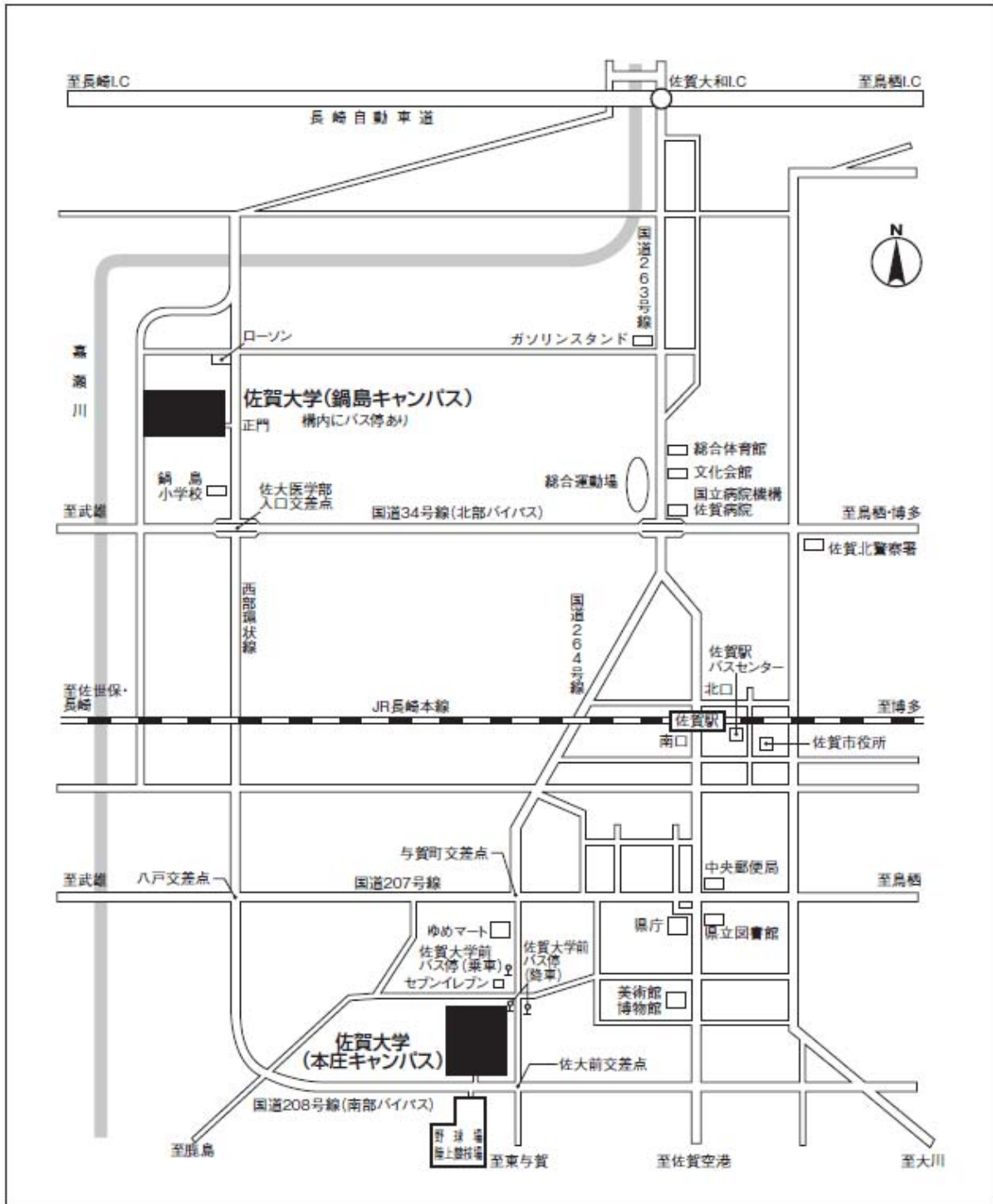
VIII 佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内

佐賀大学（本庄キャンパス）配置図

[教育学部，芸術地域デザイン学部，経済学部，理工学部，農学部]



佐賀市内略図



佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター4番のりばから市営バス〔4〕佐賀女子短大・高校線、〔11〕佐賀大学・西与賀線、〔12〕佐賀大学・東与賀線、〔4〕または〔63〕佐賀女子短大・高校線で約15分、「佐賀大学前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約10分

佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

e - m a i l contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

